

6 日間の旅

短歌

京税協の旅「西豪州」

下京支所 小田 良三

パースにて

入国へ

検査きびしき 深夜の旅
右往左往は 空の空の空

牙えわたる 空と日差しの スワン川
キングスパークの 眺望華麗

ランセリン砂丘にて

快晴に 白き砂丘の 跳びはねる

四駆に乗りて はしやぐひととき

ピナクルズにて

太古経し 奇岩怪石 ピナクルズ
造形の妙 見渡す限り

ロットネスト島にて

和ませる 鳥獣たちと ひと自然
日々共生の 島内巡る

うねり来る 怒濤に向かう アザラシの
戯れ遊ぶ インド洋見つ



ハイスピードポート前 ロットネスト島へ

田島美代子 (伏見支所 田島博昭氏夫人)

パースからバスで280 km、期待のピナクルズは、「荒野の墓標」と雑誌等で見るそれとは随分違っていた。所々に短い雑草(ワイルドフラワー)や樹木が生えており、砂の色も黄金色とは程遠い白い砂だった。夕暮れ時に行けば又、感じが違ったかも知れないが、あまり感動を覚えなかったのは、前にエアーズロックのあの大きな石を見たからかもしれない。

宇治支所 嶋田権太郎

パースは芝生の多いわさどおりの美しい街で、市内になるべく車を乗り入れさせないようバスは無料で高速道路の中央には列車が敷設され通勤にはこの方が車よりも便利であるかのように運行されていた。横断歩道は車優先で歩行者用の青信号が早く変わるのには驚かされた。



キングスパークよりの眺望

ロットネスト島

中京支所 辻倉 幸三

夏頃に何かの会で小田先生に会った時、京都税理士協同組合のパース旅行に行くというので、私も行きたいと話したところ、締め切りは過ぎていたが一度聞いてみるということから、図らずもこの旅行に参加することになりました。小田先生に感謝しています。

ブラックスワンの親子、アメリカズカップのフリーマントル港、物凄い4WDによるピナクルズの白砂と奇岩、周囲が住宅地でカンガルーも出没するジュンダラップCCの難コース、パース造幣局の正にゴールデンショーなど疲れましたが楽しい旅行でした。

辻 博子 (左京支所 高木實生氏長女)

私のケガでご迷惑をかけ、申し訳ありません。今回一番心に残ったのは、皆様の暖かさです。高齢の父が愉快的仲間に見守られ、好きなカメラ片手に海外に行けたこと—この幸せは皆様のおかげと感謝しています。添乗員の伊藤君から「安心のJTB。次回もよろしく！」とのことでした。

左京支所 吉澤 俊二

あの兼高かおるさんが「世界で一番住んでみたいところ」と激賞したという西オーストラリアのパースに行ってきました。そのパースを基点に港町フリーマントル、ピナクルズ、ロットネスト島などを観光し、仕事を忘れ存分に楽しみました。お陰さまで女房孝行もできました。参加された皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



ピナクルズ4WDアドベンチャー

【文中写真は 左京支所 高木實生氏撮影】

10月2日 支部連 ソフトボール大会

宇治支所 金澤 好起



10月2日(土)に恒例の支部対抗ソフトボール大会が行われ、我が宇治支部は19年ぶりに優勝してしまいました。当日は朝から小雨がぱらついて「中止かな」と思いながら「中止になったら麻雀できるかな」と会場に向かう車の中で半分雨乞いをしながら「まさかこんな雨の中でするなんていわんやろ」と後輩と話しをしながら勧修寺グラウンドに到着しました。天候が悪かったため「ひょっとすると誰もきていないのでは」という心配のもと集合時間より少し早めに到着したのですが、グラウンドでは既に多くの会員が集まっており雨の降る中あちこちで練習が始まっていました。



その後も続々と会員を乗せた車が到着し、「今日はあるのかなあ」などといいながら小雨の降る中役員の皆さんの決定を待っておりました。本当に微妙な天候の中で「するのかしないのか」という判断をしなければならなかった会長以下役員の皆さんは本当にご苦労されたと思います。

さて、冒頭にも書きましたように私の所属する宇治支部は今年は強力なメンバーが数人加わったのもあって優勝してしまいました。私は支部ではたいしたお役にも立てずせめてソフトボールだけはとメンバー集めの役をさせていただいているため当日試合が始まる前

は来ていただいた支部会員全員が出場できるようにいろいろとメンバー構成を考えていました。が、結局は3試合することになり最後はみんなフラフラになりながら頑張りました。1回戦が左京支部、2回戦が下京支部、決勝戦は中京支部。試合が始まる前に整列した相手チームの皆さんからは「これは勝ったな」という表情をいただき、試合が終わるとその表情は不思議となんでこんな宇治支部に負けたんやろって感じで不可解そうではありましたが、直近の過去5回の大会で宇治支部は3回決勝までいってるんですよ。勝っても勝っても強く見られない宇治支部。田舎もので弱そうな宇治支部。そんな相手チームの心の隙をうまくついた優勝だったと思います。きっと来年も対戦相手からは勝てると思われるんでしょうね。そういう意味では来年優勝してこそ本当に強いと思われると思います。とも

あれ支部連の会長でもある大高支部長を残して打ち上げに行くことにならなくて良かったです。

練習のため大会前に宇治税務署と試合をして大敗しました。先輩からは税務署とやって勝ったことがないといわれてましたが、整列したときの年齢層を見てこれは勝てるのではと思いましたが、しかしソフトボールは年齢だけでは勝てないんですね。始めのリードを守りきれず、酒乱じゃなくて守乱で惨敗してしまいました。

今回は大きなけが人もなく、悪い天候の中出場された選手の皆さん、応援・運営いただいた会員の皆さん、どうもお疲れさまでした。また、来年頑張らしましょうね。

今回は大きなけが人もなく、悪い天候の中出場された選手の皆さん、応援・運営いただいた会員の皆さん、どうもお疲れさまでした。また、来年頑張らしましょうね。

川柳


右京支所 櫻井 武

アテネ・オリンピックク(群作)

花水木咲くやアテネに聞の声
寝不足の訳は坂本・土佐・野口(みずき)
気持ちいい超気持ちいい金二つ
姉ちゃんを呼び捨てにする金メダル
ドーピング・メダルも人も抛り投げ

コミュニティバンク京信は、
地域とともに歩みます。

京都の京信、
滋賀の京信、
大阪の京信。

 **京都信用金庫**

京都市下京区四条通柳馬場東入 TEL (075) 211-2111

山中貞雄・松下見林の墓のあるお寺 大雄寺 (だいおうじ)

編集委員 清水 宏

京の上京区三番町七本松に大雄寺という寺がある。この辺りには寺院が多く分布しているが、元文元年、富田屋仁兵衛により建立されたこの大雄寺には山中貞雄と松下見林の墓がある。山中貞雄といっても私のような昭和40年代生まれの者にとっては正直馴染みがないが、小津安二郎、原節子



といえば、私の親の世代くらいの方ならよくご存知かと思う。山中と小津はともに中国に出征しながら、小津は無事に生き残り、戦後「晩秋」「麦秋」「東京物語」などの傑作を残したが、山中は昭和13年9月、中国の野戦病院で病死し映画監督としての才能を開花させることなく他界してしまったのである。毎年9月15日には「山中忌」も大雄寺で開かれている。この一人の天才映画監督が戦争のために28歳の若さで命を奪われたことに対する無念さを、小津は山中の三回忌に追悼碑という形で残したのである。ちなみに、山中の代表作「丹下左膳」の完全リメイク版(豊川悦司・和久井映見主演)が今秋38年ぶりに上映されている。

こうした偉人たちの墓がひっそりと佇む大雄寺にあることに、私は改めて京のすばらしさを実感したひとときであった。

~~~~~

## 隠れた紅葉の名所 長楽寺

編集委員 白田 多恵

八坂神社から円山公園を通り抜け、右に折れるとすぐに長楽寺の参道。献灯のつづく石段を登れば、さっきまでの喧噪が嘘のような静寂につつまれます。



延暦24年(西暦805年)桓武天皇の勅命により伝教大師(最澄)を開基として創建された長楽寺は、古来より「洛中随一絶景の霊地」として文人墨客にその景勝を愛でられ、文に詩に歌に、数多く遺されました。このほか東山を愛した頼山陽が遺言によりこの地に墓所を定めたことから、境内のあちこちに彼を慕う著名人の石碑や墓碑がみられます。

また「平家物語」とも大変ゆかりが深く、平清盛の娘建礼門院唯一の遺宝である幡が、ここ長楽寺に納められています。建礼門院は、源平戦最後の決戦場である壇ノ浦で我が子安徳天皇の後を追いつ入水しますが、

**シリーズ**  
**京都社寺巡り** 第5回  
— 府下の社寺仏閣を編集委員が訪ねます —

また、松下見林は江戸時代に中国・朝鮮などの史書や史伝を検索して、日本の歴史文化を論述した屈指の人物のひとりであった。見林の大著「異称日本伝」は、127部にわたる力作であり、その完成には30余年の歳月が費やされた。見林は医者であった松下見朴の家に生まれ、幼少から医術・医書の研究にたずさわり、21歳の時には京都で塾を開講した。見林の学問は医学・儒学・国学にわたりかなり広範であるが、とりわけ歴史の研究にいそしみ「三代実録」を校正して刊行し、大著「異称日本伝」の執筆に取り組んだ。見林のすぐれたところは、国内のみならず海外の文献をひろく探求して、その関連を見極めようとした方法にあった。つまり、単なる外籍の引用のみではなかった点である。大雄寺には元禄元年に制作された見林の座像が現存する。



源義経に助けられ、その後このお寺で剃髪されました。その際、わずか8才で生涯を終えられた安徳天皇の形見の直衣をもって白ら幡を縫い、天皇の御菩提を弔われたのですが、その時の様子が「平家物語」に記されています。毎年4月1日から5月10日まで開催される「御遺宝特別展観」では、この他にも、源氏の日をはばかり墨を塗って隠されてきた建礼門院の御影など、所蔵されている貴重な品々の原本を見せていただくことが出来ます。

残念ながら現在本堂は修復中ですが、石仏の刻まれた石壁に囲まれた“平安の滝”や、相阿弥が銀閣寺の庭を作るにあたり試作的に作ったと伝えられるお庭など見所はいっぱい。そして何よりも、この季節、山から流れる豊かな名水に育まれた色鮮やかな紅葉が私たちを出迎えてくれます。次のお休みにでも、ぜひ足を運んでみられてはいかがでしょうか? なお、女性はハイヒール以外の靴でお出かけになることをおすすめします。



### 『黄台山 長楽寺』

京都市東山区円山町626 TEL 075-561-0589

拝観時間 午前9時~午後5時

拝観料 500円(特別展開催時は650円)

シース **とっておきのお店** ここでは組合員先生方にお薦めのお店をご紹介します。

yu-an

右京支所  
國場 淳



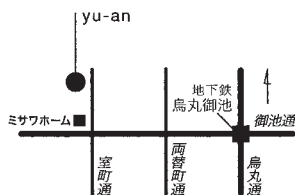
烏丸御池のオフィス街とは対照的に、御池通りから室町通を少し上がると、昔ながらの京都の面影が残る閑静な住宅街に変わる。歩いて行くと壁に3本のスポットライト。まるで人の家をのぞくような門をくぐり、細い通路を進むとワインサロン「yu-an」(ユアン)と出会う。

明治10年築、呉服屋さんの娘さんが分家する際に建てられた「居宅建」と呼ばれる住居用の町家。築100年以上の町家のお茶室を利用したワインサロンだ。こじんまりとしたお茶室にテーブルがひとつ。必然的に完全予約制となったこのワインサロンは他のお客さんに気遣うこともなくゆったりとした時間を過ごすことが出来る。ワインはすべてイタリアのもので、州別に書かれたメニューを見ながらワインを選ぶのも楽しみのひとつである。ワインはフルボトル3千円~2万円のものまで種類も豊富である。チャージは一人1,500円(お通し付)。手の込んだお料理といった感じではないが、京都ならではの豆腐やお漬物、サラダやイタリアチーズなど毎日お通しの内容は変わる。また、お通しとは別に、イタリアチーズ盛り合わせ、生ハム盛り合わせ、バケットなどを頼むことも出来る。四季に応じた旬の食材を楽しみながらのワインは格別だ。また、ワインが飲みきれなかった場合のお持ち帰りのサービスがうれしい。ガラス窓から覗くライトアップされた坪庭は何より心休まるご馳走である。営業時間はpm6:30~10:30。和の空間でイタリアンな気分。これが奇妙なようであって、やけにぴったりはまっている。軽く食事をした後に、時間の流れをゆったりと感じられる。ぼくのおすすめのお店。yu-an。



『yu-an』

miho project mori yu gallery  
京都市中京区室町通御池上ル御池之町311  
tel 075・212・4456 fax 075・253・2252 yu-an1@mbox.kyoto-inet.or.jp



天麩羅 松

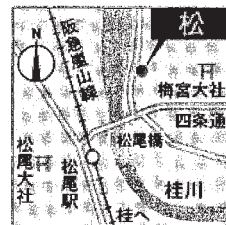
右京支所  
清水 郁雄



松尾橋の東詰め、萩原堤を上がると「天ぶら」と書かれた大きな提灯を掲げて「天ぶら 松」がある。昔は天ぶら専門店だったが、今は懐石料理のお店です。季節の素材をフルに使って自由自在に美味を繰り広げるコース料理の後に、野菜中心の天ぶらが出されるのが特徴です。お料理はおまかせのコースのみで、大将創作の何種類もの皿が次々とテンポよく出される。色々な食材を少しずつ楽しむにはこの上なく、今日は何がどういう風に料理されて出てくるのか楽しみになる。盛りつけもさりげなく古伊万里や魯山人のすばらしい器に、季節の草花を大胆、且つ繊細にあしらって、目でも楽しませてもらえる。

店内は1階にカウンター席が10席ほどとテーブル席が3、奥に座敷があって、2階には嵐山が望める個室があります。僕はカウンターに座って見事な手さばきで作られていくお料理を見ながら頂くのが好きです。たとえば、沢山盛られた地の松茸が、どう料理されて出てくるかを楽しみながら見られる。此処では松茸と鰯かと思うと、松茸とアワビの取り合わせであったりして、意外性に驚かされる。いつも斬新な、意表をついた美味を味わえる。最後の天ぶらの後は、特製の麺類を頂き、自家製の和風デザートで満足する。

お昼は3,500円、5,000円。夜は7,000円、8,500円、10,000円、出来れば事前に予約を入れてください。



『天麩羅 松』

京都市右京区梅津大繩場町 TEL 075-881-9190  
営業時間 午前11時半~午後9時。水曜休。  
テーブルとカウンター計約40席。 駐車場12台。

大同チャリティーゴルフコンペ

開催日 平成17年4月7日(木)

場所 グランパール京都ゴルフ倶楽部



## 赤煉瓦の建物

中京支所 久保田 勇

私には三つの好きな散歩道がある。住まいが丸太町通りで、京都御所と向かい合っているため、朝のコースは御苑内を散歩する。



今一つのコースは、丸太町橋のたもとから鴨川べりを爽やかな冷気を満喫しながら川かみにむかい、そして荒神橋から河原町を横切り、京都御苑を経て家路へとたどるコース。

三つ目は、ちょっと趣きのちがった散歩道ではあるが、時折私の楽しみコースにしているものがある。

京都税理士会館が近くに移転したこともあり親しみのある格好の散歩道と思って披露に及んだ次第である。三条通り。そこ

シリーズ  
おすすめ散歩道

には赤煉瓦の明治建物が4棟残っている。京都のまちに奇妙に同化して、それは、それぞれの意匠の豊かなのか、時代による風化なのか、或いは京都のまちの奥行の深さなのか、それとも赤煉瓦の魔術なのだろうかなどと思いつつ外かべに煉瓦の残るまちを歩く。元京都郵便局（現中京郵便局）の煉瓦建物から東に一筋、旧日本銀行京都支店は、赤煉瓦と白い花崗岩が見事な調和を見せる重文指定の明治建物で、現在京都文化博物館別館になっている。



大正期以降の近代建築物が三条通りにはたくさん残っていて、町家と現代建築とが相まって京都独特の町並みをかたち作っているところなど、私の散歩道の楽しいコースの一つである。高倉通を三条から北へ。そこには京都文化博物館の本館がある。朝の散歩時間には開館に少し早すぎるが、休日や時間の許す日には、1200年に及ぶ京都の歴史や、伝統文化にもふれることができ、また館内には江戸時代末の京の商家の町並みを復元した「京格子」と呼ばれる米屋、酒屋、炭屋など職業別に分類された格子が並んだ二つの通りからなる「ろうじの道」があって、京料理やめん類などの飲食店をはじめ、「京物」とよばれる伝統工芸品を扱う老舗などが並んでおり、京ことばをつかって「商い」を行っている。こんな店先などを眺めながらのそぞろ歩きもまた悪くはない。

新築成った京都税理士会館にもほど近く、私の「おすすめ散歩道」の一つでもある。

ことはない。

でもやがて、またみんな元の場所に戻ってくる。景色と挨拶がくるくるとこだまする。早起きのおばさんだけが、にこりともせず眺めている。昨日と同じ、明日も同じ風景に。

松ヶ崎には、摩訶不思議なメリーゴーランドがあるのを知っていますか。



## メリーゴーランドのあるベランダ

左京支所 清水 仁志

松ヶ崎の疎水べりの風景は、とても面白い。

浄水場から流れ出る疎水に沿って続く道の北側と南側には、似た風景が延々と続く。

閑静な住宅街のなかにつながるこの道は、どこにでも目にしそうな風景で、初めて訪れた人にとってはちょっとしたラビリンスだ。



そのくせ四季によってその表情は、いくつにも変化（へんげ）する。そんな12面相に誘われるかのごとく行き交う人は、途中いくつかある小さな橋の真中からその疎水の表情を確認する。

いろんな国の犬たちは、いつもの場所で友人と挨拶を尾と鼻で交わす。西に行く犬、東へ行く人。挨拶が終わると、お互い相手がきた道へと分かれていく。

木々の小鳥たちも、小さく挨拶をする。赤ん坊がその声に耳を傾けながら、また眠りにつく。そんな赤ん坊を起こさないように、音を立てずに静かに白鷺が疎水に舞い降りる。小魚が驚いて、亀の横をすり抜けて滑らかな水面に筋をつけていく。

しかし川面に映るいくつもの景色に、桜の木に止まる蛍の灯りと夕日に染まったもみじの赤とが競演する

≡丹波・丹後≡

シリーズ

りょうたん  
たんぼう

# 福知山界わい

編集委員 間嶋 利行

## 福知山百人一首歌看板

福知山駅が今の場所に出来てから百周年を迎えるにあたり、福知山を全国に発信するチャンスとして福知山市内の小倉百人一首ゆかりの地生野（福知山市生野）と小野脇（福知山市今安）をPRしようと地元ロータリークラブがこのほど百人一首の読み札の看板を建てた。いにしえのロマン漂う福知山に絶世の美女二人を訪ねてきました。

### 大江山いく野の道の遠ければ

#### まだ文も見ず天のはし立

小式部内侍は幼少の時より非常に歌が上手でしたがあまりにも上手な為に、母（和泉式部）の代作ではとの噂がたった。和泉式部が夫とともに丹後の国に赴任し不在中に、内侍はある歌会に招かれ「歌は如何せさせ給ふ。丹後へ人は遣しけむや。使、未だまうで来ずや」との意地悪い問いに即興で歌ったのがこの歌だそうです。

歌で詠まれている「いく野」の地は、兵庫県の生野（銀山で有名）ではなく、都から大江山（現在の太枝山）を通り国道9号線沿いにある福知山の生野です。



### 花の色は移りにけりないたづらに

#### わが身世にふるながめせしまに

六歌仙・三十六歌仙に名を連ねる女流歌人小野小町は、世界三美女といわれた故に、恋多き女性として幾多の浮き名を流していたが、晩年は、身を崩し病にむしばまれることが多く、歌のような人生を送ったといわれています。福知山市小野脇（今安）は、小町が病氣療養のためこの地を訪れたときに詠んだといわれています。

福知山市小野脇は、市内から青垣町に抜ける途中に位置し、人里離れた美しい集落で、小高い丘の中腹に小町を祀る祠があります。

## 福知山にもあった大文字山

福知山駅から車で10分北西に走ると「丹波のもみじ寺」として知られる長安寺がある。この寺は現在は臨済宗南禅寺



姫髪山遠望

派に属しており福知山初代城主杉原家次の墓が安置されている。「丹波大文字山」として知られる姫髪山はこの長安寺の裏にそびえ立っている。

福知山に大文字焼（送り火とはいわない）があるとはついぞ知らなかった。

両丹地区懇談会に出席すべく当日、福知山出身の京税協事務局長岸見氏「福知山にも大文字山がありませ。毎年8月16日は火が焚かれませ」という御神託。

京都の大文字山には毎日のように登っている小生としては聞き捨てならない。さっそくタクシーを飛ばし長安寺へ。運転手氏に大文字山に登りたい旨をいい降りてくるまで待っててくれるように頼んだところ、小生の背広、ネクタイ、革靴姿を見て「無理ですよ、2時間かかりますよ」。



火床

台風につめあとか倒木が道をふさぎ、谷水が溢れ出何日も人が通った気配がない。急坂を一気に登ったためか今年の夏の異常な暑さのせいか全身に汗が噴き出してきた。ままと背広、ネクタイ、シャツ、ズボン脱ぎ（この姿を想像してはいけない）シャニムに頂上へ。眼下に広がる福知山盆地、市街地、再興なった福知山城、三段池公園、悠久の由良川、対峙する烏ヶ岳と素晴らしい眺めを堪能し一気に下山した。この間40分。あきれる運転手氏と両丹懇談会の会場であるサンプラザ万助に駆けつけたのであります。



福知山城

来年の8月16日は丹波の大文字焼を見物したいものであります。

### ◆台風23号による災害お見舞◆

10月20日、近畿地方に上陸した台風23号により被害を受けられた両丹地区の方々に対してまして、心よりお見舞い申し上げます。